5分でわかる高山市の景気動向調査

昨年度は管内の調査を行っておりましたが、同様の調査が会員事業者様のところへ複数依頼されていること(調査への対応の負担が増えている)、また、当会会員からの抽出形式では対象数が少なく、調査目的に見合う結果がお届けできないことから、高山市にて実施されている「景気動向調査」を分かりやすくまとめなおし、お届けすることにしました。

なお、調査結果の原本については高山市役所ホームページからご覧頂くことができます。

令和7年第Ⅱ四半期(4月~6月期)分

高山西商工会 経営発達支援事業

調査概要

- 調査目的:管内小規模事業者の景気動向等を収集・周知することで、地域経済の動向把握並びに将来予測、それらを踏まえた事業活動に役立てていただく。
- ・調査対象:高山市内の500事業者(うち、有効回収数140事業者)
- 調査目的:【内訳】建設業:33(39.3%)、製造業:31(33.3%)、小売業: 24(23.5%)、飲食業:15(19.0%)、旅館業:18(22.8%)、その他:19 (30.2%)
- 調査時期:令和7年7月中旬
- 調査方法:調査対象を事業所統計調査のデータより無作為抽出(層化抽出)し、 郵送の方法によるアンケート調査

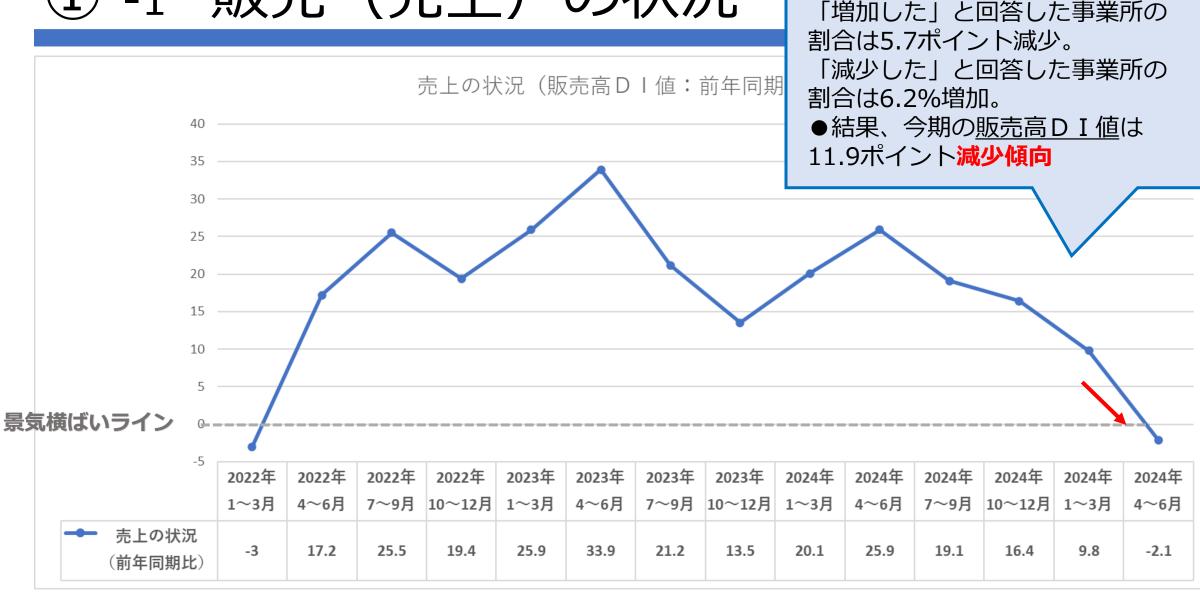
【DI値(Diffusion Index:ディフュージョン・インデックス)とは】

DI値は、景気の動向を示す指標の一つです。

端的に言うと…

「景気が良くなっているか、悪くなっているかを数値で表したもの」です。 各項目ごとの「増加(上昇・好転・長期化)企業割合」と「減少(低下化・短期化)企業割合」の 差を示すものです。

① -1 販売 (売上)の状況



●販売高が前年同期と比較して

①-2売上高DIの前年同期比(業種ごと)

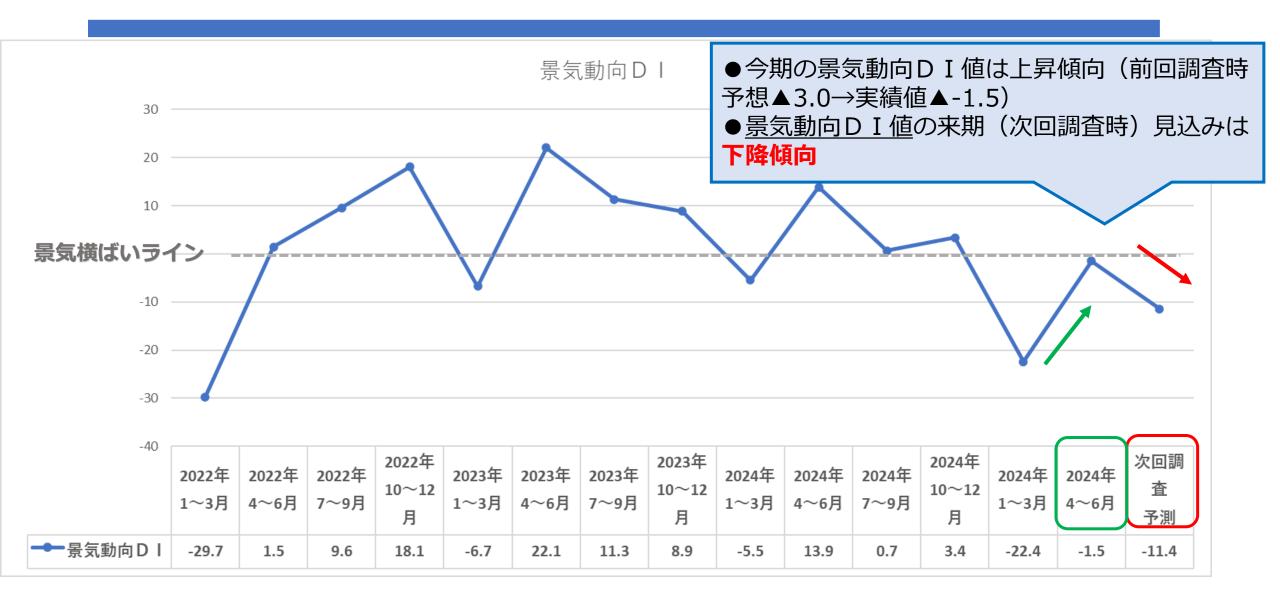








②-1 景気の動向(自社の景気)



②-2 景気動向DIの来期見込み (業種ごと)



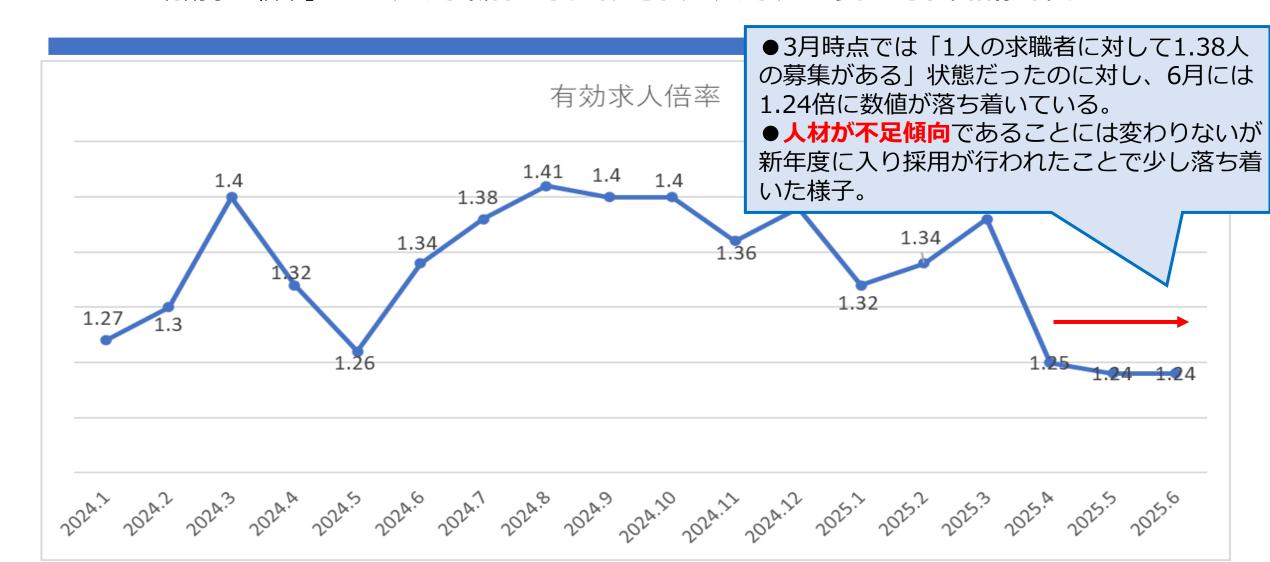






③-1 雇用の状況 (飛騨管内の有効求人倍率の推移)

「有効求人倍率」とは**1人の求職者に対して、どれだけの求人があるかを示す指標です。**



③-2 雇用の状況 (来期予測)













④ 設備投資の状況(前回調査時予測との比較)

- ●今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は21.4%(前回比-7.2ポイント)
- ●向こう1年間において「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合は 26.8%(前回比-8.0ポイント)

建設・土木業

飲食業

製造業



10.7%

下回る





22.9%

下回る

旅館業

卸売・小売業

その他



1.5%

上回る



6.6%

下回る



4.9%

上回る

⑤ 月別観光入込客数の推移

●5月GWはおおむね好天に恵 まれた

●7月「大災害の予言」がイン バウンド客の入れ込み数に影 墾

